

Ⅰ 資料を活用したグループ活動（小学校）

○教育課程への位置付け

「体育」：「体の発育・発達」（小学校第4学年）

○使用教材

・文部科学省「生命の安全教育教材（小学校（低・中学年））」

○授業のねらい

- ・自分の体も他の人の体も大切であることを理解できるようにする。
- ・自分と他の人の大切なところ（「水着で隠れる部分」等）を理解できるようにするとともに、大切なところを守るルールを理解できるようにする。
- ・自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになる場面について考え、このような場面が起こったときの対応方法を身に付けることができるようにする。
- ・自分と他の人を大切にする態度を養う。

授業の内容



資料を用いてグループで意見交流

＜児童や指導した教諭の感想＞

- ・自分の体は自分だけのもので大切なものだ分かった。（児童）
- ・自分の体と同じように、他の人の体も大切だと分かった。（児童）
- ・自分だけの大切なところは「水着で隠れる部分」と示すことで、児童に分かりやすく伝えることができた。（教諭）
- ・事例等を通して、自分の体を守ることの大切さについて、気付かせることができた。（教諭）

本授業では、「じぶんのからだはじぶんだけのもの」をテーマとして、文部科学省の資料を活用しながらグループで話し合い、自分の体はとても大切であること、また、他の人の体も大切であることについて、児童の理解を深めた。

授業実施の成果と今後に向けて

○成果

- ・文部科学省の資料を活用し、イラストや、日常生活の場面を想定した事例をもとにグループで話し合う活動を通して、自分と他の人の大切なところを守るルールや、自分の体を見られたり、触られたりして嫌な気持ちになったときの対応方法等について理解させることができた。

○今後に向けて

- ・実際の性暴力においては、水着で隠れる部分への接触だけでなく、体を撫でるなど、様々な行為があることを踏まえ、性暴力の被害や自分の体を守る方法について、より広い視点で理解を深める必要がある。

＜指導案・使用した教材＞

- ・文部科学省ホームページ「生命の安全教育教材（小学校（低・中学年））」
URL: https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html